

個人投資家向けIRセミナー

2022年8月30日

株式会社 **テックス**

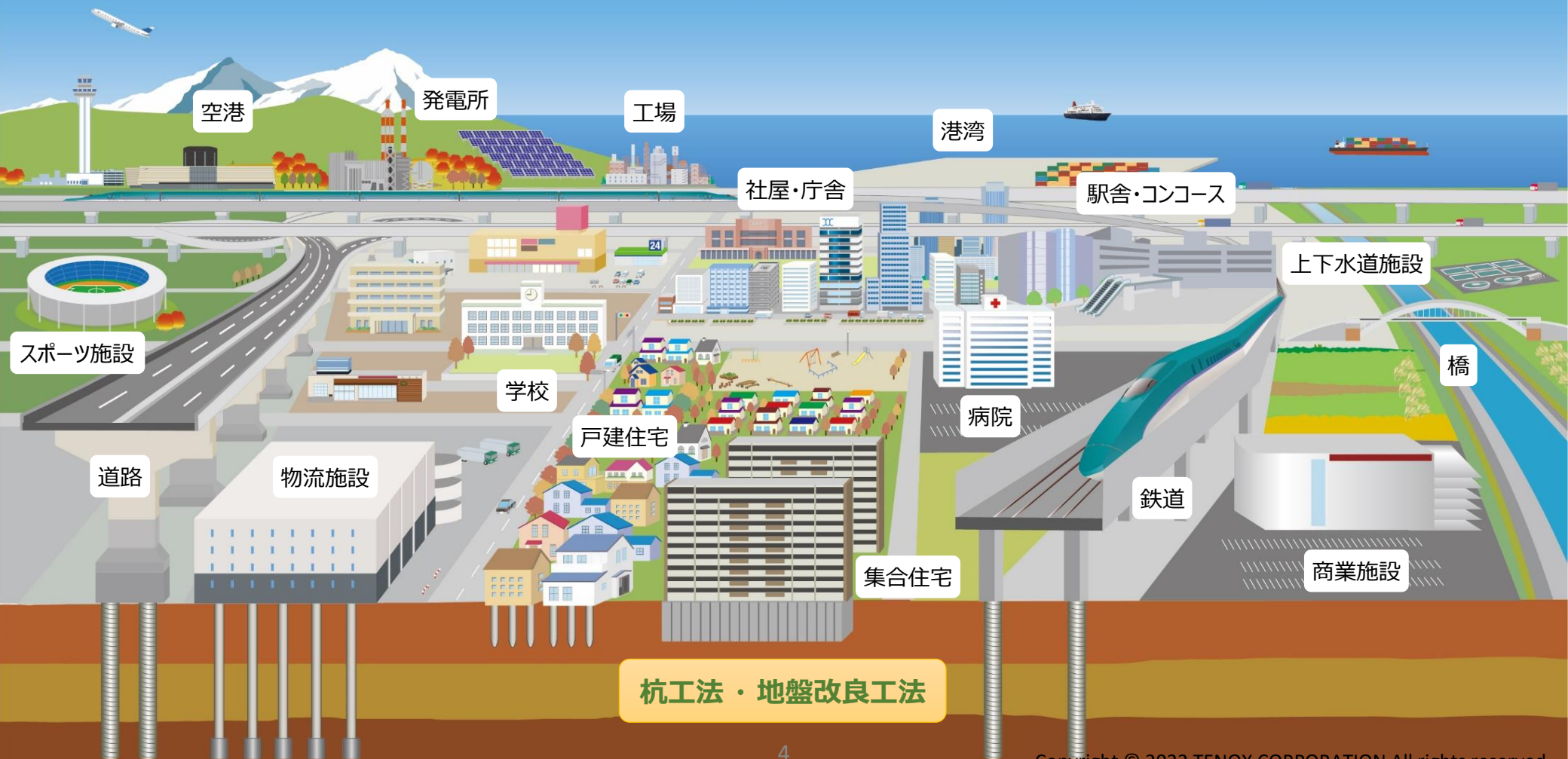
STANDARD TOKYO 証券コード：1905



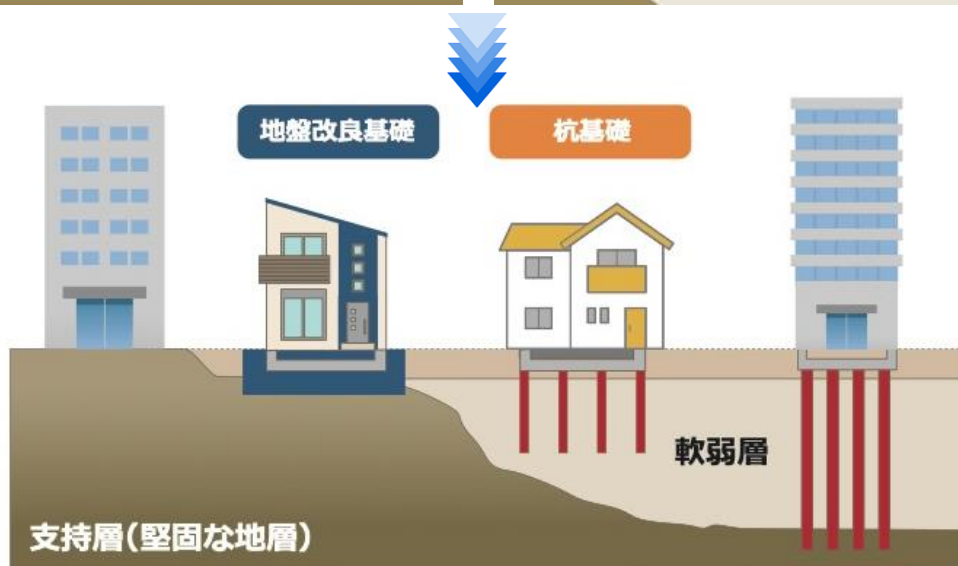
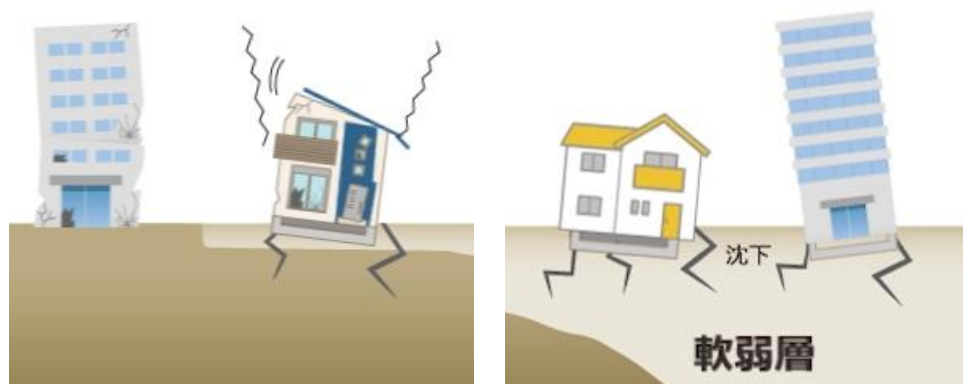
1. 「テノックス」って、どんな会社なの？
2. テノックスの「強み」って何？
3. テノックスの「今」って、どうなの？
4. テノックスの「これから」は？
5. テノックスの「ファン」に！

1.「テノックス」って、どんな会社なの？

私たちテノックスは、住宅、商業施設、病院、倉庫、工場、鉄道、道路など、身の回りにある様々な構造物を利用するすべての方々に、基礎工事を通して「安全」と「安心」をお届けしています。



建築構造物や土木構造物の荷重を地盤に伝え、安全に支える構造を築造すること



日本は地震が多いうえ、人口の大半が河川が運んだ軟弱な土砂が堆積した平野に集中しています。

このような地盤に建物などを建てる際は、軟らかい地盤の下方にある硬い地盤（支持層）で支えねばならず、地盤と建物の条件に適した土台作り＝基礎工事が必要となります。

私たちは、あらゆる建物や構造物を支える基礎工事の専門家集団です。

社名（テナックス）の由来

創業者の安田善次郎が、1970年に安田を慕う10名の青年とともに会社を設立しました。この10名が雄牛の様に力強く邁進しようと、10名の「TEN」と雄牛の「OX」を結びつけ、「TENOX」（テン・オックス＝10頭の雄牛）を社名としました。

ロゴマークについて

雄牛のOXをヒントにロゴマークをデザインしました。



初代社長安田善次郎（前列中央）と創業時の顔ぶれ

ご当地施工例



大阪モノレール支柱建設工事（桑才新町工区）
（2022年2～7月ガンテツパイル工法施工）

社名	株式会社テナックス （英訳名）TENOX CORPORATION
本社所在地	東京都港区芝五丁目25番11号
設立	1970年7月8日
資本金	17億1,090万円
代表者	代表取締役社長 佐藤 雅之
事業内容	・ コンクリートパイル、鋼管パイルの販売 およびその杭打工事の請負 ・ 地盤改良工事の請負
従業員数	連結323名（2022年3月31日現在）
拠点・グループ会社	国内拠点：11ヶ所 グループ会社：国内5社・海外1社
上場市場	東京証券取引所 スタンダード （証券コード：1905）



50th Anniversary
テナックスの底チカラ

創業者 安田善次郎の想い



創業者 安田 善次郎

『基礎工事は建物を支える大事な工事なのに、工事は下請け任せで手抜きされても分からない。自分でやらなければならない、というのが私の考えだ。そして、町中でドカンドカンと大きな騒音と振動と油煙といった公害を振りまく。これからは公害を振りまくような工事は厳に慎まなければならない。環境に配慮した低公害工法を開発する必要がある。』

(1970年5月)

テノックス50年の歩み

株式会社 テノックス

1997

(財)鉄道総合技術研究所（現・公益財団法人）・東急建設(株)と共同開発の**ラディッシュアンカー工法**技術審査証明を取得

2002

旭化成建材(株)と共同開発の**ATTコラム工法**国土交通大臣認定を取得

2005

新日本製鐵(株)と共同開発の**TN-X工法**国土交通大臣認定を取得

2010

(株)日本住宅保証検査機構と共同研究開発の**ピュアパイル工法**建築技術性能証明を取得

2018

ベトナム社会主義共和国にて**テノラム工法**の企業規格（TCCS）を取得

1995

新日本製鐵(株)・(株)クボタと共同開発の**ガンテツパイル工法**、技術審査証明を取得

1984

当社開発の**テノラム工法**特許を取得

1985

新日本製鐵(株)（現(株)日本製鉄）と共同開発の**TN工法**建設大臣認定を取得

1980

低騒音・低振動を実現した、旭化成建材(株)と共同開発の**CMJ工法**業界初の建設大臣認定を取得

1970

東京都港区に(株)テノックスを設立

テナックス ● 8ヶ所 (● 3出張所)、グループ会社 ● 国内4社、海外1社

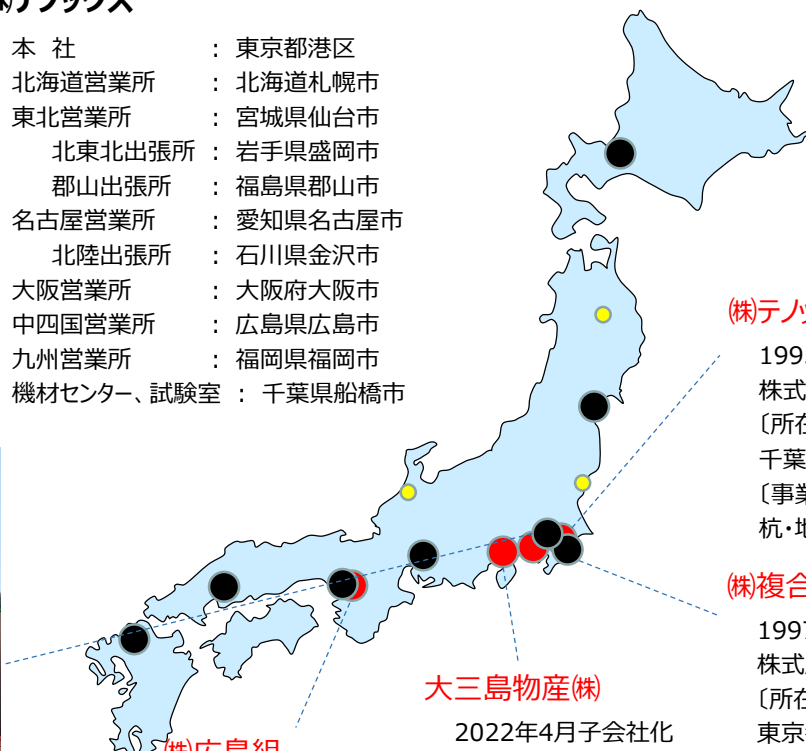
国内

(株)テナックス

- 本社 : 東京都港区
- 北海道営業所 : 北海道札幌市
- 東北営業所 : 宮城県仙台市
- 北東北出張所 : 岩手県盛岡市
- 郡山出張所 : 福島県郡山市
- 名古屋営業所 : 愛知県名古屋市
- 北陸出張所 : 石川県金沢市
- 大阪営業所 : 大阪府大阪市
- 中四国営業所 : 広島県広島市
- 九州営業所 : 福岡県福岡市
- 機材センター、試験室 : 千葉県船橋市



(本社)



(株)広島組

2020年10月子会社化
株式所有割合 100%
〔所在地〕
大阪府大阪市
〔事業内容〕
杭工事、地盤改良工事、土留工事

大三島物産(株)

2022年4月子会社化
株式所有割合 100%
〔所在地〕
静岡県三島市
〔事業内容〕
杭工事、地盤改良工事、山留め工事

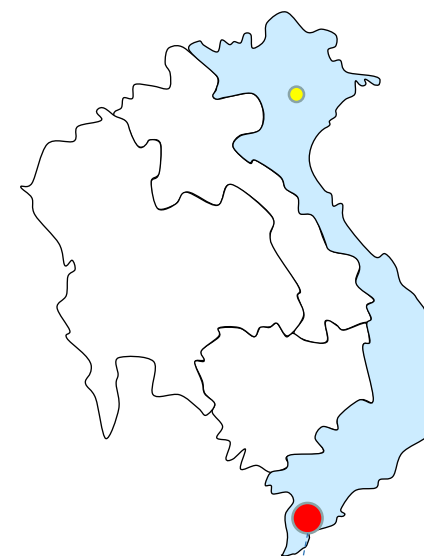
(株)テナックス技研

1995年9月子会社化
株式所有割合 100%
〔所在地〕
千葉県船橋市
〔事業内容〕
杭・地盤改良事業及び建機賃貸

(株)複合技術研究所

1997年4月設立
株式所有割合 55%
〔所在地〕
東京都新宿区
〔事業内容〕
土木建築コンサルティング全般等に関する事業

海外 (ベトナム) アジア進出の拠点



TENOX ASIA COMPANY LIMITED

2015年9月設立
出資比率 100%
〔所在地〕
ベトナム社会主義共和国ホーチミン市
〔事業内容〕
ベトナムにおける杭材料の販売及び地盤改良工事の施工等

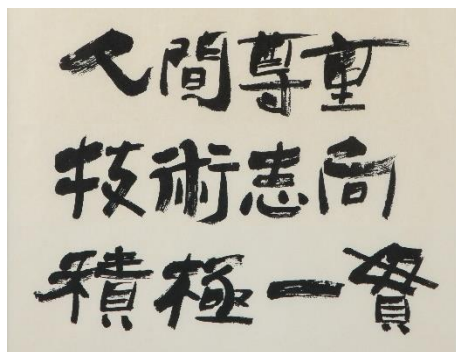
長期ビジョン (目指すべき企業像)

変化する社会のニーズに適応した技術の革新に積極的に取り組むことで、新たな価値と市場を創出する
基礎工事を通し、社会に「安全」「安心」を提供し、すべてのステークホルダーが豊かさを実感できるサステナブルな企業を目指す

長期ビジョン

(目指すべき企業像)

経営理念



経営理念

建設事業

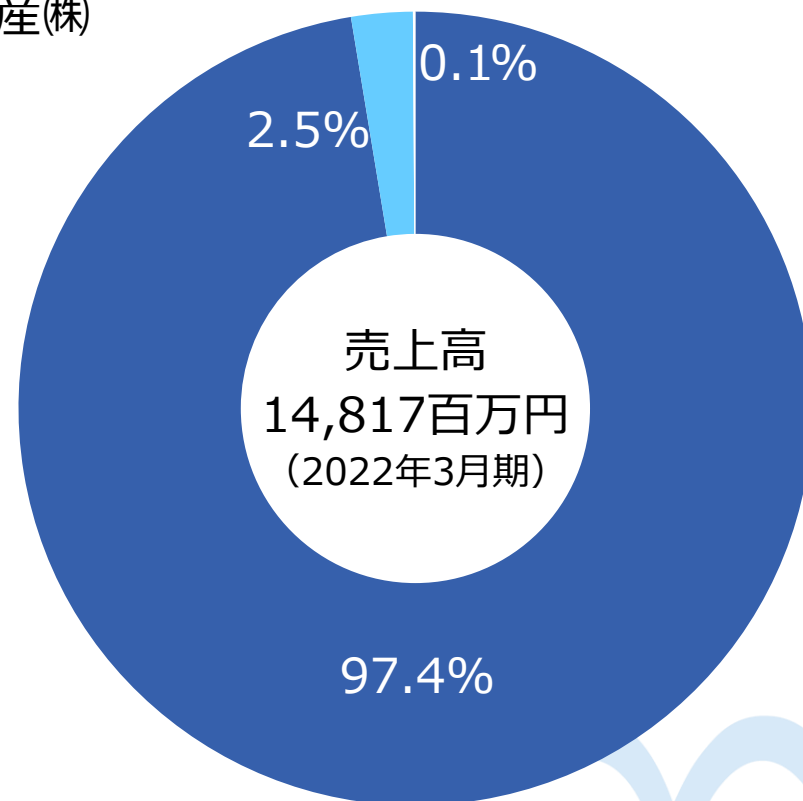
国内では、当社及び(株)テナックス技研、(株)広島組、大三島物産(株)が基礎工事に特化した建設事業を行っております。
海外では、TENOX ASIA COMPANY LIMITEDが事業を行っております。

土木建築コンサルティング全般等事業

(株)複合技術研究所が、地盤の強化・補強に関する分野のシンクタンクとして、設計・解析・実験業務などを行っております。(公財)鉄道総合技術研究所とタイアップし、鉄道に関するコンサルティング業務も行っております。

その他の事業

不動産賃貸事業等を行っております。



基礎工事に特化した建設事業を行い、環境負荷の低減に積極的に注力

杭工法

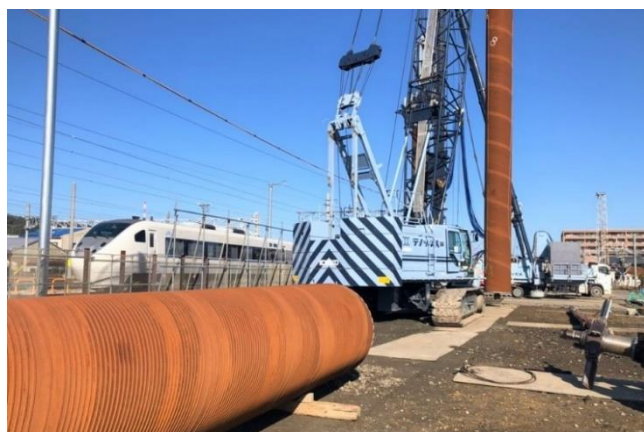
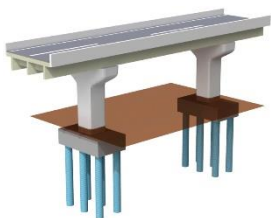


地盤改良工法



施工方法が異なる2つのカテゴリーを有していることが特徴

ガンテツパイル工法 (鋼管ソイルセメント杭工法)



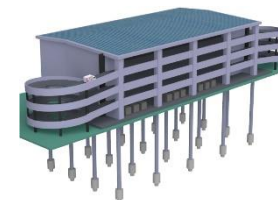
日本製鉄株式会社、株式会社クボタと共同研究開発した工法。ソイルセメント柱と外面突起付き鋼管から構成されるハイブリッド高支持力杭です。道路橋、鉄道橋、上下水設備など、土木分野で幅広くご採用いただいております。

※ソイルセメント柱とは、地盤にセメント、水、混和材を練り混ぜたセメントミルク液を注入攪拌混合して造成される固化体の柱のことです。

– 主な施工事例 –

北陸新幹線・**新名神高速道路** (詳細を次ページで紹介) ・新東名高速道路・名古屋第二環状自動車道・甲子川水門・鵜住居川水門etc.

TN-X工法 (先端拡大根固め鋼管杭工法)



日本製鉄株式会社と共同研究開発した、大径鋼管杭の先端に拡大根固め体を築造する建築向けの工法です。大型物流施設やデータセンター、官庁施設、病院などの大型建築物を、少ない杭本数で支えることができます。

– 主な施工事例 –

徳島河川国道事務所庁舎・GLP枚方Ⅲ・豊洲新市場水産仲卸売場棟・東京レールゲートEAST・東京国際展示場・東京国際空港国際線旅客ターミナルビル etc.

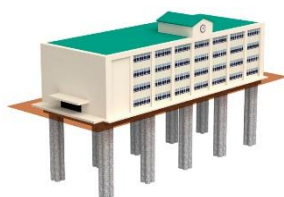
施工例：「新名神高速道路城陽JCT・IC」付近は、テノックスの技術で支えます。

OpenStreetMap
openstreetmap.org

出典：NEXCO西日本ホームページ



テノコラム工法 (ソイルセメント工法)



高濃度のセメント系固化材液を地盤に注入攪拌し、高品質の円柱体（ソイルセメント柱）を築造する工法です。1984年に特許を取得。建築物の基礎工法として地盤改良の使用が認知されるさきがけとなりました。建築分野で幅広くご採用いただいております、これまで約39,800件の実績をあげております。

– 主な施工事例（関西） –

K大学（桂）図書館、K女子大学学生寮、某大手化粧品メーカー彩都拠点、吹田市の市民病院、某大手飲料メーカー物流施設etc.

ATTコラム工法



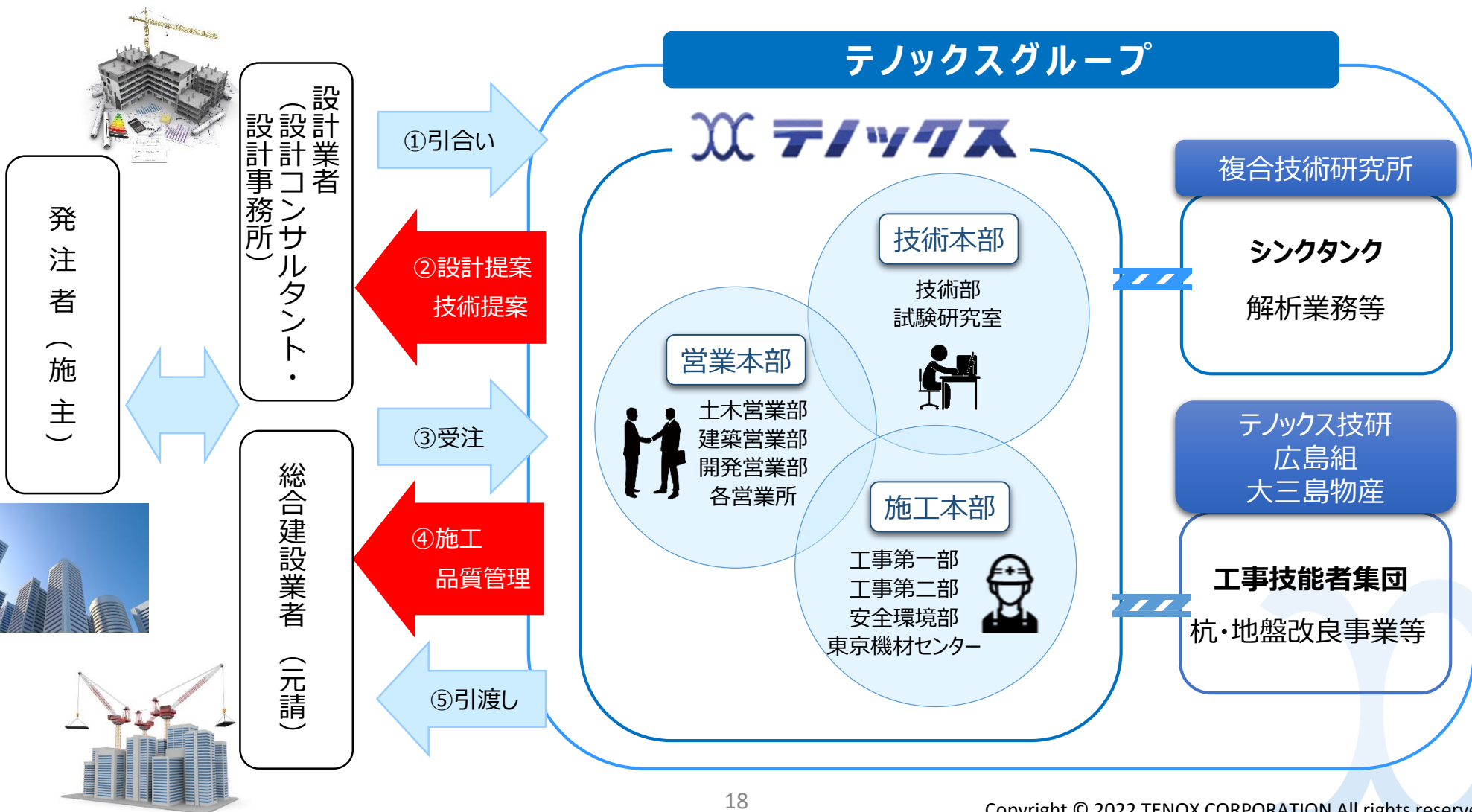
旭化成建材株式会社と共同研究開発した、地盤改良（コラム）と羽根付き鋼管を合体させたハイブリッド杭工法です。ソイルセメント柱の外周面で大きな摩擦力を評価できるため、軟弱地盤においてその特性を最大限に発揮できます。狭い現場や狭い搬入路に対応できる工法として高く評価されております。

– 主な施工事例 –

旭化成ヘーベルハウス・ヘーベルメゾンetc.

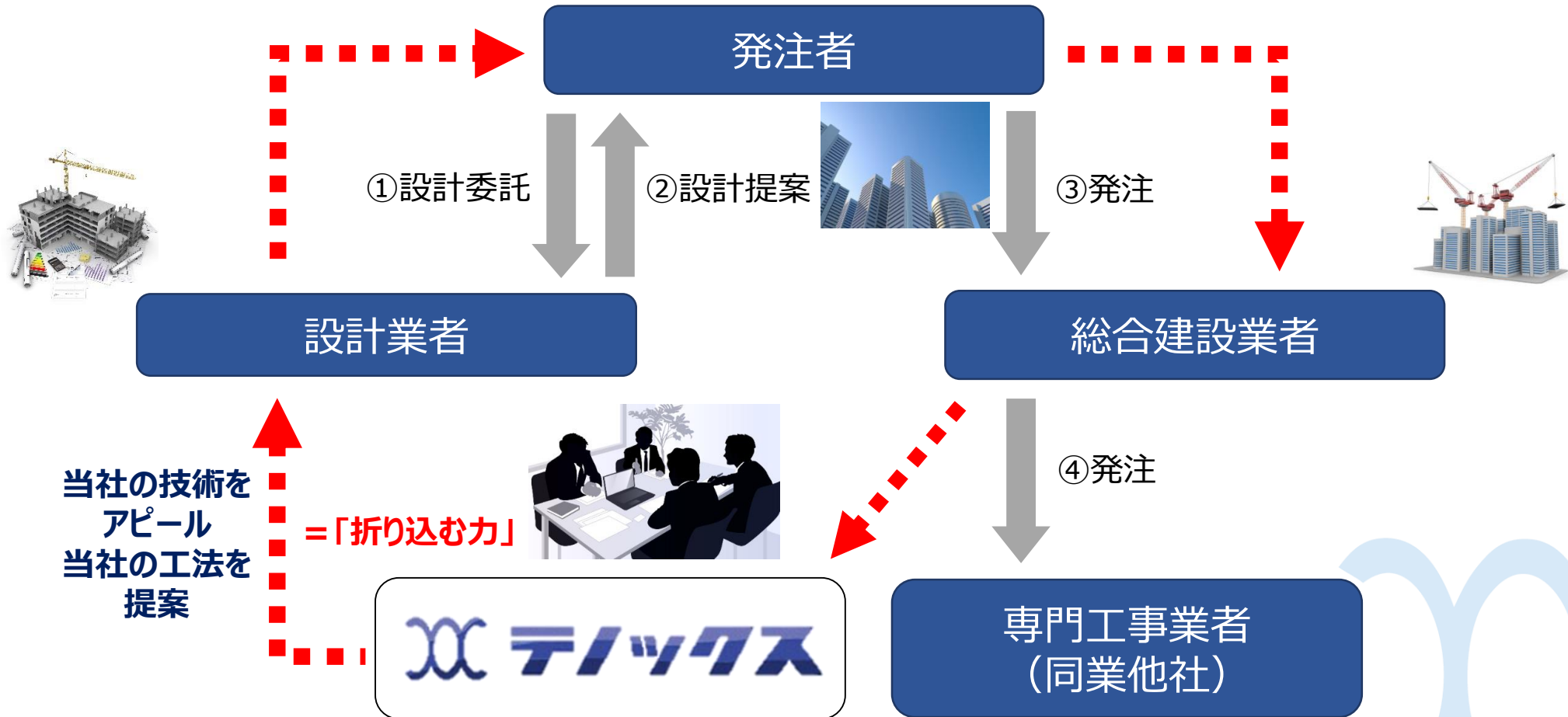
2. テノックスの「強み」って何？

設計から施工まで一貫した体制で高い品質を実現



強み① 「折り込む力」

設計業者が発注者に設計提案をする前段階で技術アピールや工法提案を行い、通常の取引の流れ（グレーの矢印）を赤の点線の流れに変更することにより受注確度が向上



強み② ネットワーク力・技術力・挑戦力

日本製鉄(株)・(株)旭化成建材・(公財)鉄道総合技術研究所・東京大学etc.相互の技術を融合させるパートナーシップ

環境保全に貢献する技術と信頼性の高い品質管理

- ◆ 特許保有件数 : 100件
- ◆ 有資格者 :
 - 一級土木施工管理技士 64名
 - 二級土木施工管理技士 90名
 - 基礎施工士 73名 他多数

ネットワーク力
(信頼)

技術力
(品質)

ネットワークを
活かした
技術革新による
弛まぬ発展

挑戦力
(向上)

経営理念
人間尊重

経営理念
技術志向

経営理念
積極一貫

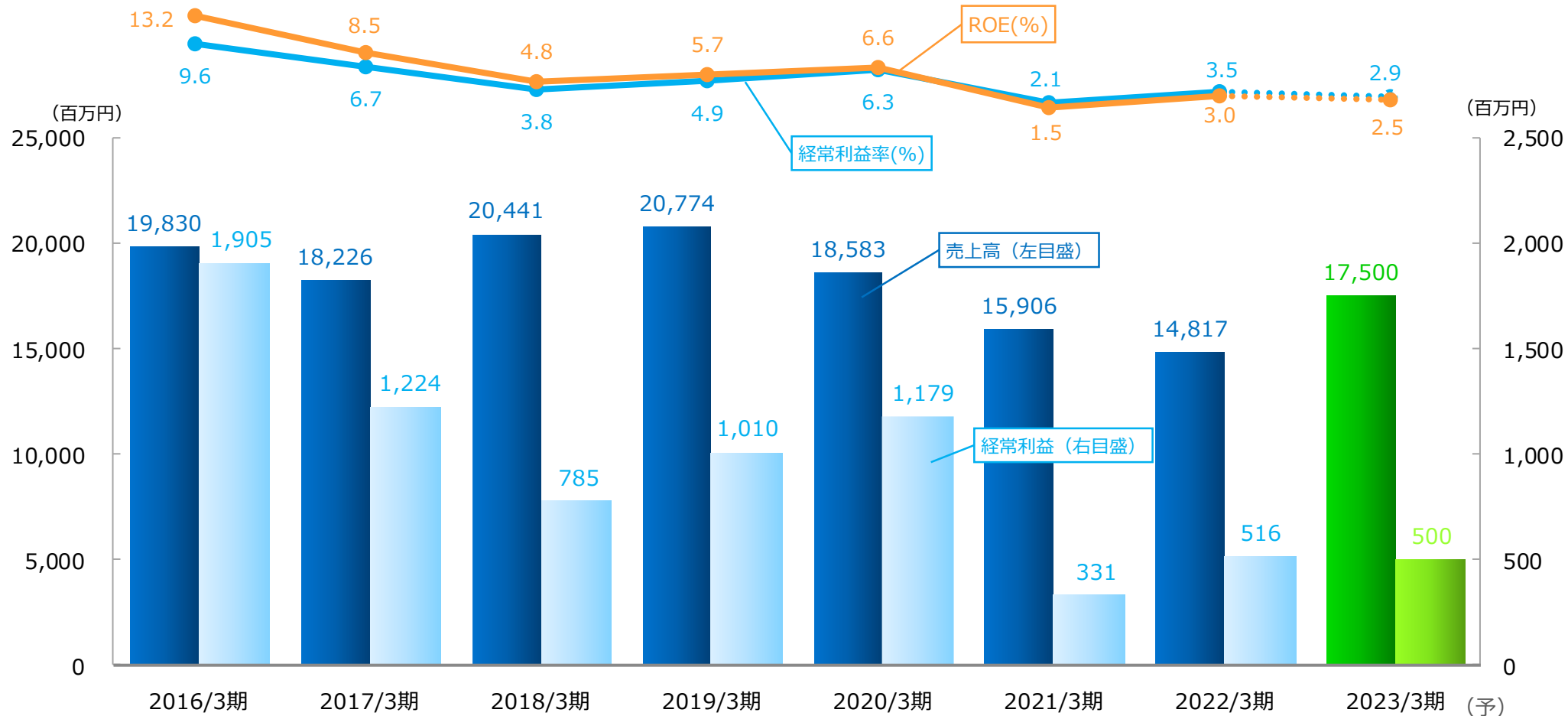
絶えざる新技術・新工法への挑戦こそが
テノックスの基本姿勢

3. テノックスの「今」って、どうなの？

業績推移 (売上高・経常利益・経常利益率・ROE)

株式会社 テノックス

- ✓ 2016/3期に連結子会社であった株式会社テノックス九州を持分法適用会社へ変更。2017/3期に持分法適用会社より除外。
- ✓ 2016/3期は日本経済が回復基調であったことに加え、新東名、名古屋第二環状、東海環状などの大型道路プロジェクトや東日本大震災の復興関連工事が寄与し、経常利益19億円となった。
- ✓ 2018/3期は大型建築工事で発生した施工不具合の復旧費用が影響し、利益が落ち込んだ。



テナックス単体の完成工事高推移

(官庁/民間・土木/建築別)

株式会社 テナックス

建設のあらゆる用途に対応が可能なことから、バランスよく様々な分野で当社工法が採用されるため経営は安定

(単位：百万円)

20,000

■官庁 ■民間

官庁/民間別

15,000

10,000

5,000

0

2016/3期

2017/3期

2018/3期

2019/3期

2020/3期

2021/3期

2022/3期

6,969

10,673

7,622

8,860

8,448

8,229

8,330

10,001

7,443

7,936

7,476

5,562

7,818

5,659

(単位：百万円)

20,000

■土木 ■建築

土木/建築別

15,000

10,000

5,000

0

2016/3期

2017/3期

2018/3期

2019/3期

2020/3期

2021/3期

2022/3期

9,643

7,998

9,732

6,751

11,224

5,453

9,446

8,885

8,034

7,345

8,810

4,229

8,576

4,901

完成工事

工事名	工法 (施工地)	完成年月
五井火力発電所 発電設備建設工事	地盤改良 (千葉県市原市)	2022年7月
株式会社ベルーナ吉見ロジスティクスセンター増築工事	建築杭 (埼玉県吉見町)	2022年2月
千客万来施設（6街区）新築工事	建築杭 (東京都江東区)	2022年2月

受注残工事

工事名	工法 (施工地)	完成予定年月 (2022年8月8日現在)
(株)SUBARU（泉）工場移転に伴う建屋建設工事	地盤改良 (群馬県大泉町)	2022年7月
北海道新幹線、市渡高架橋他	土木杭 (北海道北斗市)	2022年12月
新名神高速道路城陽第三高架橋西下部工事	土木杭 (京都府城陽市)	2022年11月

2023年3月期 業績予想

株式会社 テノックス

- ✓ 国内建設事業は、土木・建築ともに今期へずれ込んだ大型物件が売上に寄与する。また、関西インフラ強靱化プロジェクトの施工が引き続き高水準で予定されることなどから、増収を見込む。
- ✓ 海外建設事業は、ベトナムのコロナ禍の影響で停滞していたプロジェクト案件が動き出すことから、増収を見込む。
- ✓ 利益は、先行きの不安から受注競争が激しさを増し、また建設資材や燃料などの価格高騰の影響を受けることが予想されることから、減益を見込む。

(単位：百万円)

		2021/3実績	2022/3実績	2023/3予想	対2022/3実績比	
					増減金額	増減率
売上高	国内建設事業	15,292	14,300	16,840	2,539	17.8%
	海外建設事業	67	150	200	49	33.0%
	土木建築コンサルティング等事業	546	365	460	94	25.8%
	計	15,906	14,817	17,500	2,682	18.1%
	営業利益	308	466	450	△16	△3.5%
	経常利益	331	516	500	△16	△3.1%
	親会社株主に帰属する当期純利益	173	357	310	△47	△13.4%

4. テノックスの「これから」は？ (中期経営計画)

長期ビジョン（目指すべき企業像）

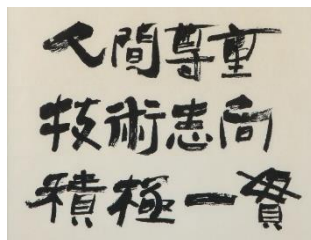
変化する社会のニーズに適応した技術の革新に積極的に取り組むことで、新たな価値と市場を創出する

基礎工事を通し、社会に「安全」「安心」を提供し、全てのステークホルダーが豊かさを実感できるサステナブルな企業を目指す

中期経営計画

現中期経営計画は、長期ビジョンの達成に向けた **Phase 2** と位置づけ、変化が著しい経営環境を見据えた戦略を構築する

経営理念



長期ビジョン

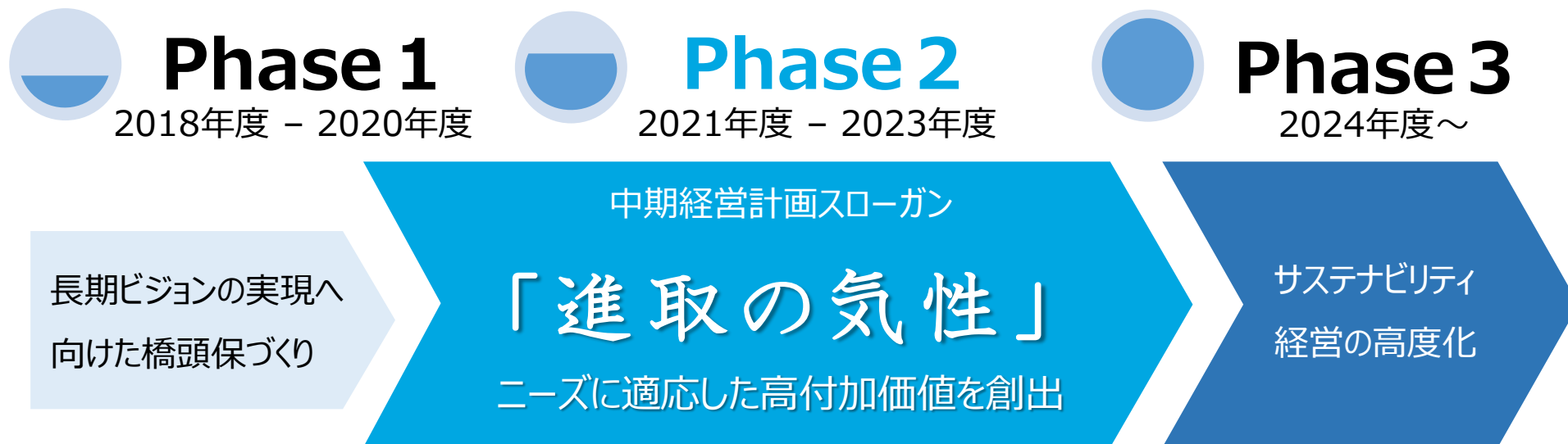
（目指すべき企業像）

中期経営計画

（2021年度－2023年度）

経営理念

建設需要の変化、VUCA（※）にも**適応**でき、新たな50年の礎となる高付加価値を追求



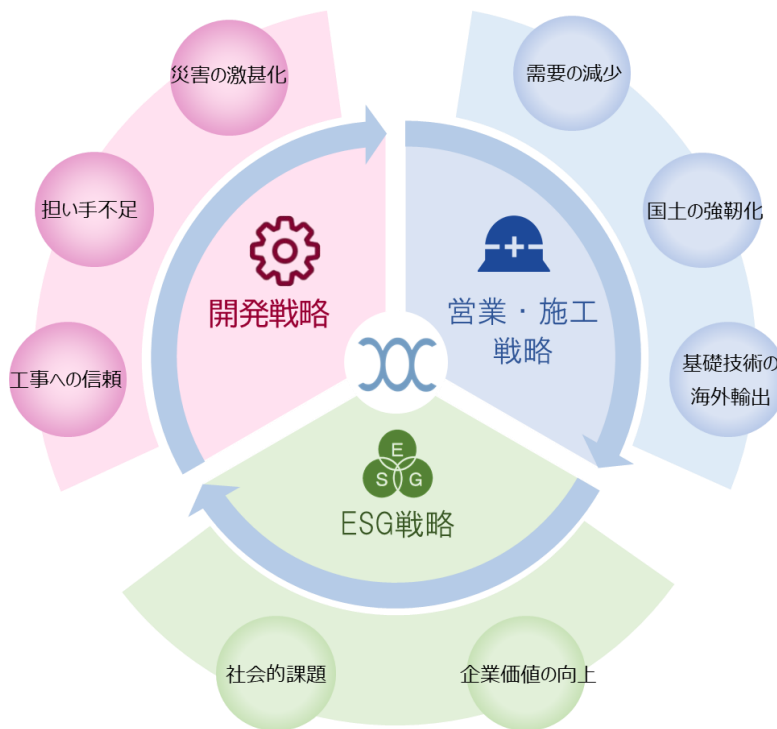
（※VUCA：先行き不明瞭な時代のこと）

前中計からの課題、経営環境・ニーズの変化を、3つの基本戦略で解決

開発戦略

基礎分野における
高付加価値の創出

- 環境変化と国土の強靭化に
基礎技術で貢献
- 社会が安心できる信頼性を確立



営業・施工戦略

施工技術を駆使した
国土強靭化への貢献

- 設計提案から施工までの
サプライチェーンの実現
- 開発途上国の社会インフラ
整備に貢献

ESG戦略

社会課題解決、企業価値向上への取り組み



サステナビリティ経営の高度化

中期経営計画URL

<https://www.tenox.co.jp/ir/management/plan/>

開発戦略

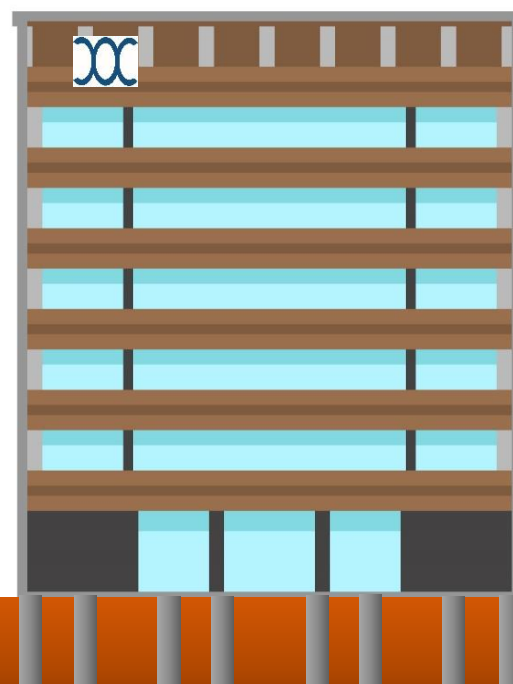
営業・施工戦略

ESG戦略

〈未着手の市場への参入〉

- 既存杭の引抜きと引抜き後の埋め戻し事業
- コンクリートパイルの高支持力工法の開発
- 地盤改良における硬質地盤への対応施工法の確立
- 浅層・中層地盤改良への参入

“ワンストップサービスの実現”



〈社会課題解決への取り組み〉

- E ■ 脱炭素（二酸化炭素の削減）
 - ・GTL燃料の使用普及、小型施工機の電動化
 - ・基礎工事での二酸化炭素の固定化
- 産業副産物の再利用
 - ・PAdeCS（コンクリートスラッジからの生成物）
焼却灰などの再利用
- S ■ 人への投資
 - ・健康経営、DX推進による生産性の向上、働きがいのある職場環境作り
- G ■ コンプライアンス研修の充実
- リスクマネジメント体制整備

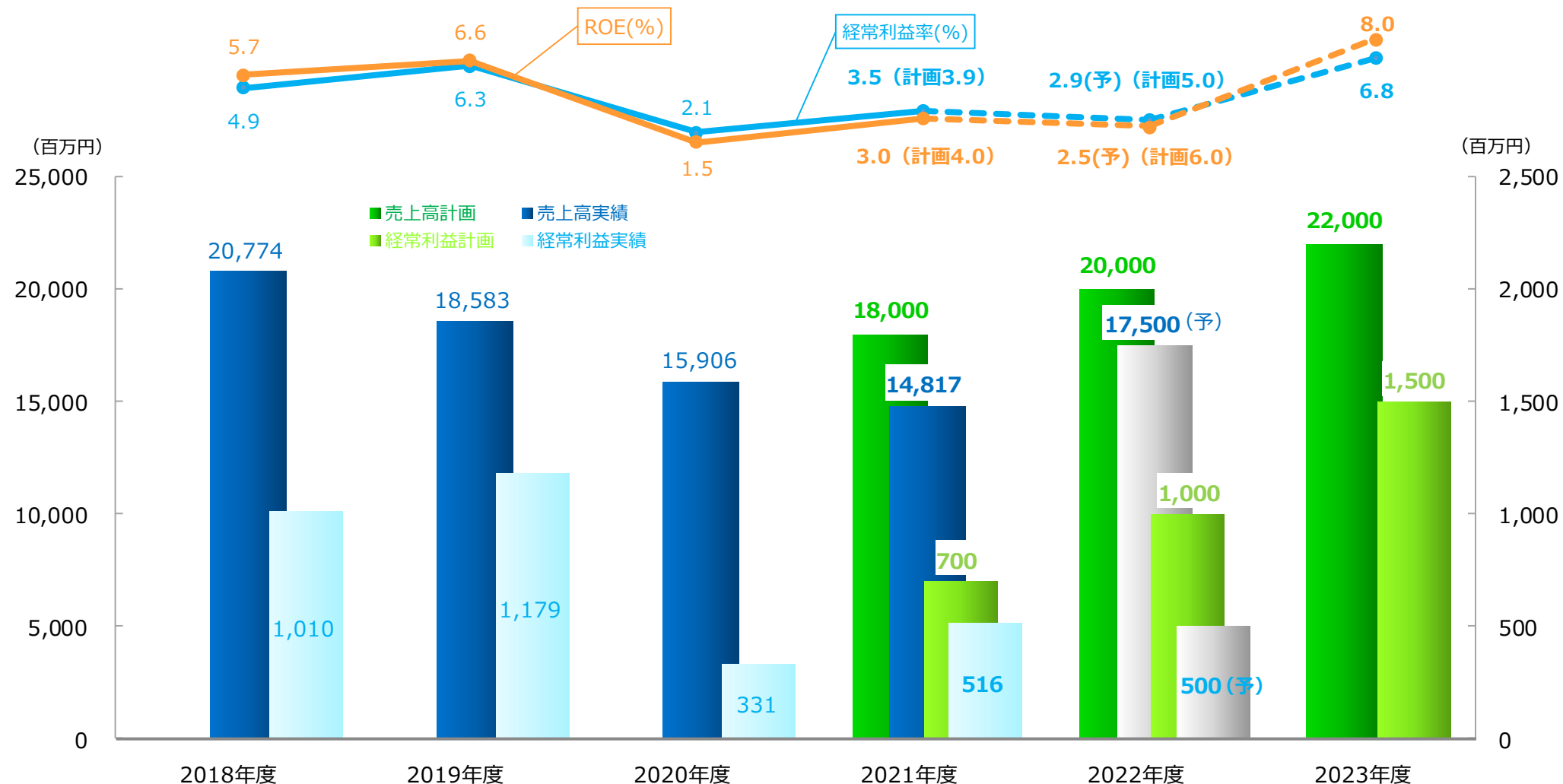
“サステナブル経営を支える”



これまで培ってきた伝統や経験、技術開発力を「基礎」にし、新規を広げていく。

経営数値目標（2021年度 - 2023年度）

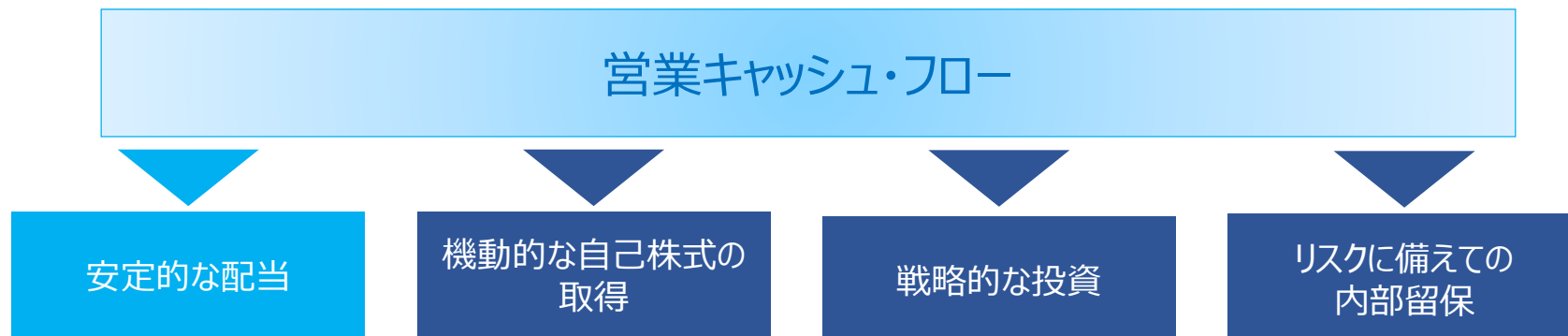
株式会社 テノックス



〔売上内訳〕

	2021年度 〔計画〕	2021年度 〔実績〕	2022年度 〔計画〕	2022年度 〔予想〕	2023年度 〔計画〕
国内建設事業	17,100	14,300	19,000	16,840	20,800
海外建設事業	400	150	500	200	600
土木建築コンサルティング事業	500	365	500	460	600

株主還元と成長のための戦略的な投資をバランスよく実施



連結配当性向 30%

当該期の業績や財政状態に加え、中期的な見通しも勘案して実施

投資計画 35億円（3年間）

投資予定項目	
機 材	施工機械関連費
開 発	研究開発・実験工事関連費
	ICT技術導入関連費
事 業	海外事業投資
教 育	人財育成・教育費
環境整備	リモートワーク環境整備費
	基幹システム刷新費
グリーン	カーボンニュートラルへ向けた整備費

5. テノックスの「ファン」に！

株主還元政策の進捗状況

- ✓ 中期的な見通しも勘案したうえで、連結配当性向30%程度を目安に安定的な配当を実施。
- ✓ 機動的な自己株式取得を実施。2022年度は1億70百万円（20万株）の自己株式取得を実施。
- ✓ 2022年度に35万株の自己株式消却を実施、株主の不安を払拭し充実した株主還元を行う。

1株当たり配当金

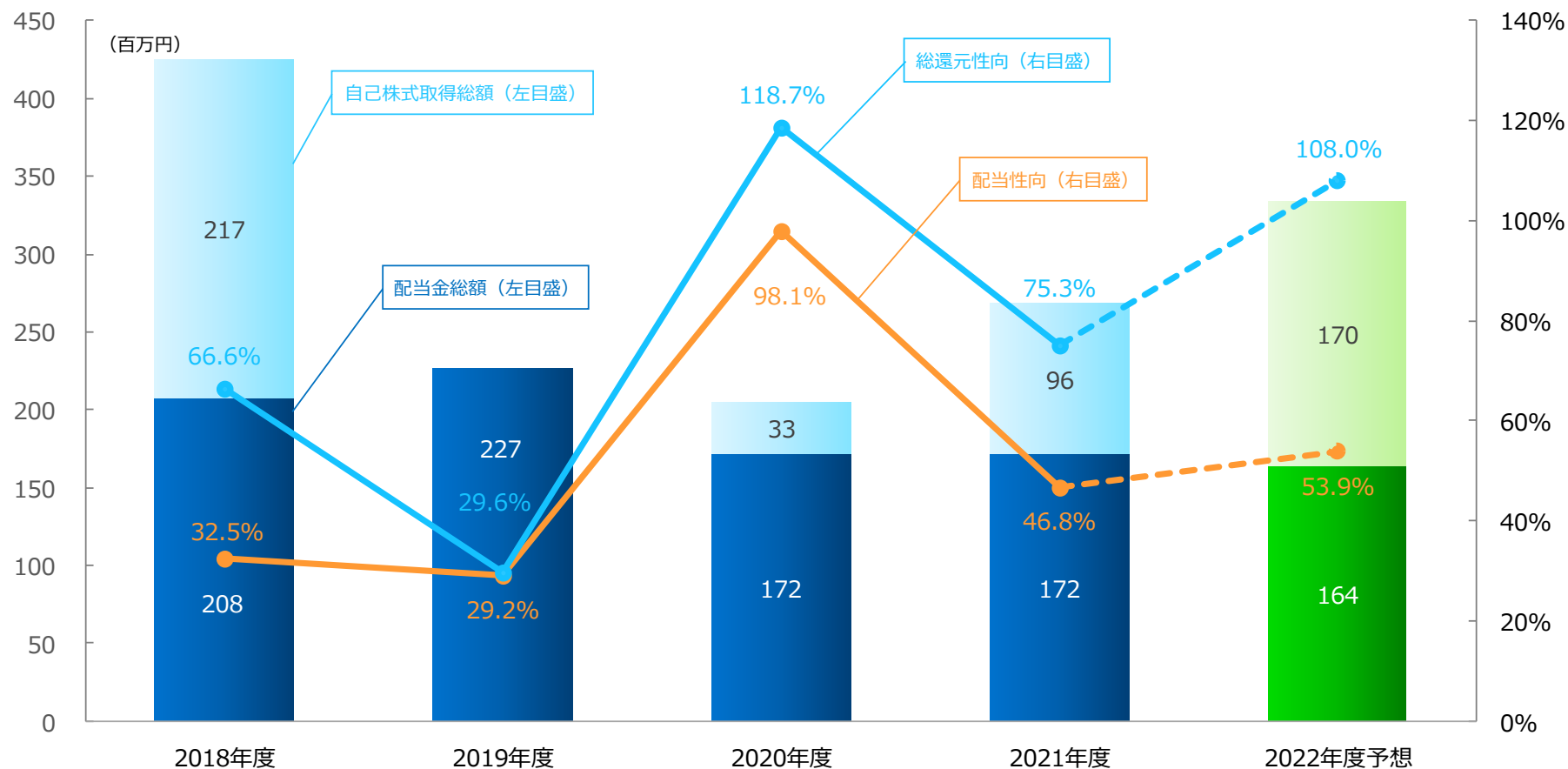
30円

33円

25円

25円

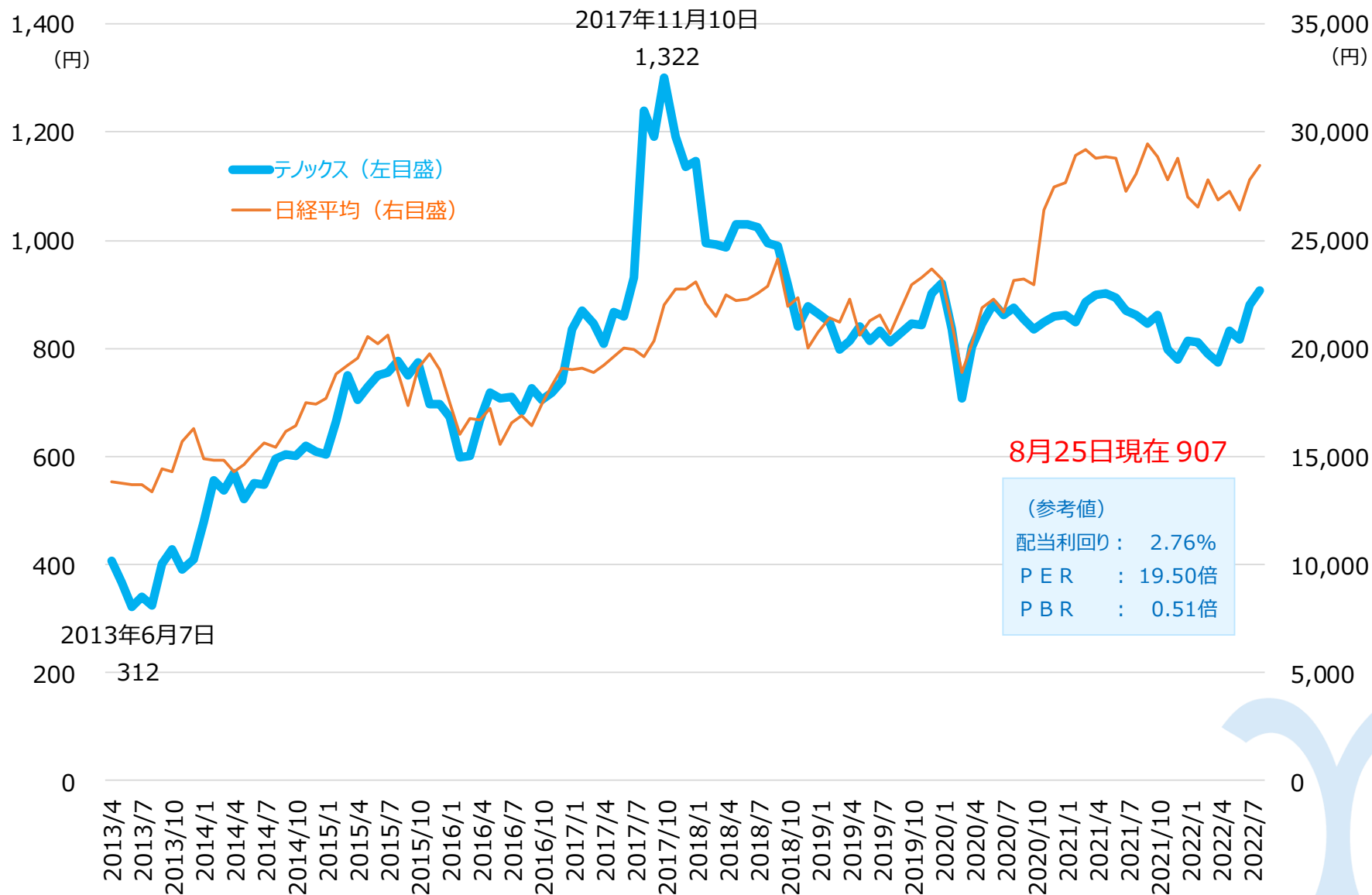
25円



※ 総還元性向 = (配当金総額 + 自己株式取得総額) ÷ 親会社株主に帰属する当期純利益、配当性向 = 1株当たり配当金 ÷ 1株当たり当期純利益

株価推移 (2013年4月から2022年8月)

株式会社 テノックス



建設業が造る構造物は多種多様ですが基礎は共通、テノックスです。



これらのあらゆる基礎を支えているのがテノックスの技術です！



そして私たちを支えてくださるのが株主・投資家の皆さまです！

**ご清聴いただき
ありがとうございました。**



代表取締役社長 佐藤 雅之

ご参考資料

（中期経営計画の取り組みと進捗）

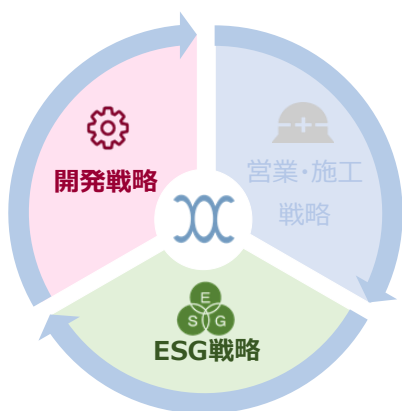
① 基礎工事業界で初 建設現場でGTL燃料の導入を開始



- ✓ GTL (Gas to Liquid) 燃料は石油由来の軽油に代わるクリーンな燃料。燃焼時の**二酸化炭素 (CO₂) 排出量を約8.5%削減**するほか、無色無臭で燃やしてもすすが出にくく、**硫黄酸化物 (SO_x) や窒素酸化物 (NO_x) の大気汚染物質を低減**できる。
- ✓ 2021年11月に東急建設株式会社より請け負う工事現場で使用を開始、これまでに4件で使用し、燃費や特性などを検証中。
- ✓ **基礎工事業界での導入は初。**



【軽油】 【GTL燃料】

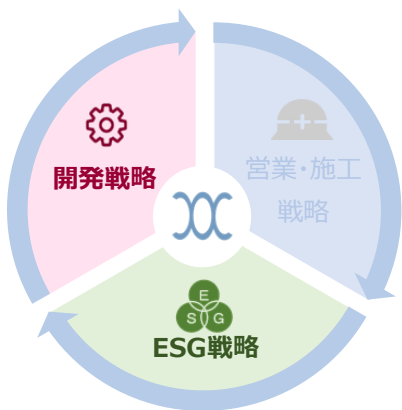
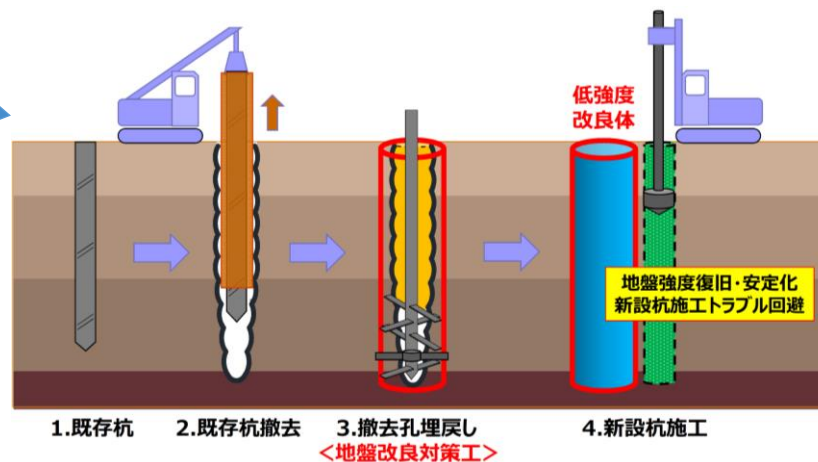
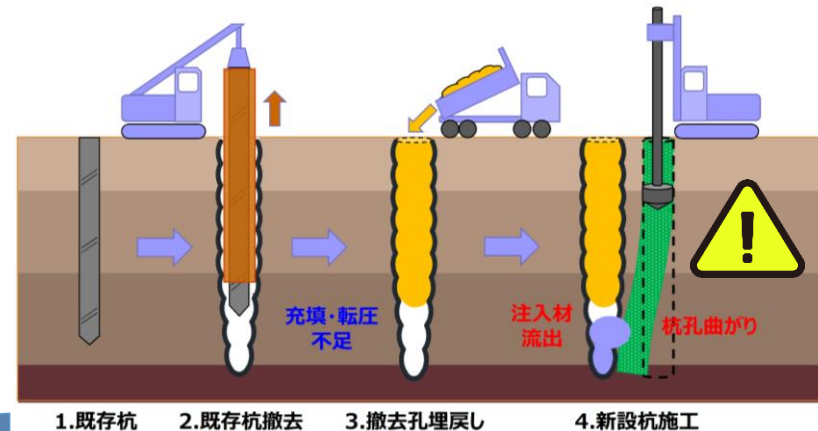



- E : 環境配慮型社会の形成…CO₂排出量の低減**
- 新技術の創出…環境負荷削減施工法の確立**



② 既存杭引抜き地盤への施工技術の検討

- ✓ 既存建物を解体する際、建物を支えてきた杭（既存杭）の撤去後に杭孔の埋戻し処理を適切に行わないと、孔曲がりや孔壁崩壊など、新設杭の品質確保に悪影響を及ぼす。
- ✓ 杭の撤去と同時に埋戻し処理を行い、**周辺地盤の緩みを防止し原地盤程度の強度に復旧、安定させる地盤改良技術の確立**に取り組んでいる。
- ✓ 原地盤程度の強度を確保する方法として、**産業副産物を用いた材料を活用**していくことを検討している。



 **基礎地盤の強靱化への貢献**
 …都市再生に関わる改良施工技術の導入
 新技術の創出…環境負荷削減施工法の確立

 **E：環境配慮型社会の形成…産業副産物を資材として再利用**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

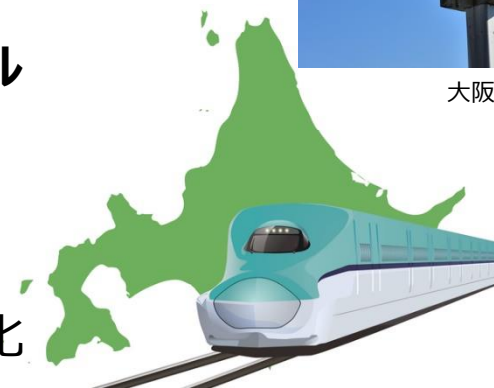


③ 国土強靱化、リダンダンシー（※）プロジェクトへの貢献

- ✓ 北海道新幹線延伸事業の工事第一弾「北海道新幹線、市渡高架橋他」の基礎工事を受注。（2022年度施工予定）
- ✓ 「大阪湾岸道路西伸部」「新名神高速道路」「大阪モノレール延伸」など関西インフラ強靱化プロジェクトの基礎工事を受注し、施工を開始。
- ✓ 近年頻発する豪雨災害に備えた施設整備のための建設需要（水処理施設・排水機場・ポンプ場など）への設計提案を強化中。



大阪モノレール



※リダンダンシー

「冗長性」、「余剰」を意味する英語であり、国土計画上では、自然災害等による障害発生時に、一部の区間の途絶や一部施設の破壊が全体の機能不全につながらないように、予め交通ネットワークやライフライン施設を多重化したり、予備の手段が用意されている体制を示す。
〈国土交通省ホームページより〉

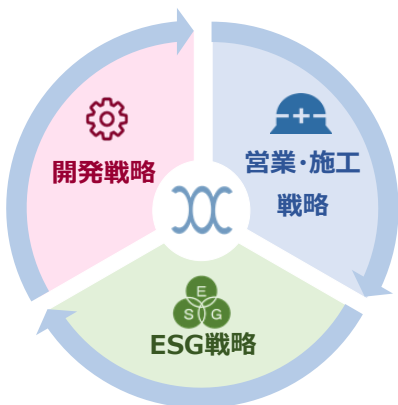
 リダンダンシープロジェクトへの貢献

 基礎地盤の強靱化への貢献
…国土強靱化政策、減災・防災への提案

 S：激甚災害への備え…国土のリダンダンシー整備への貢献

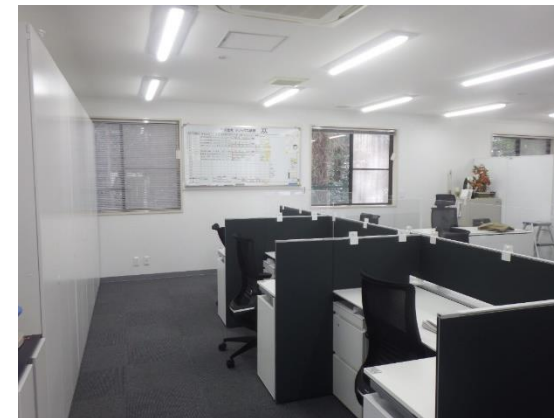


北海道新幹線鋼管ソイルセメント杭施工試験



④ 働きがいを実感できる職場環境づくり

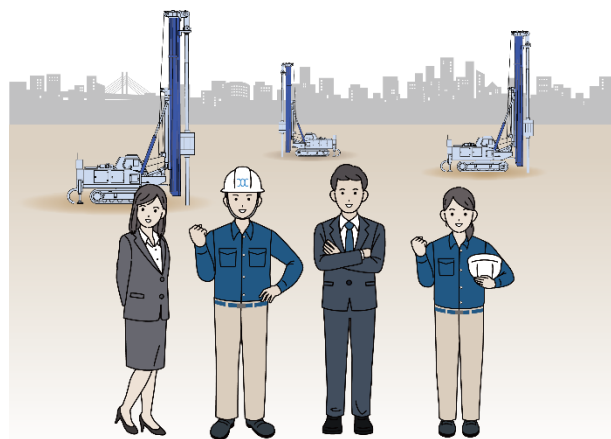
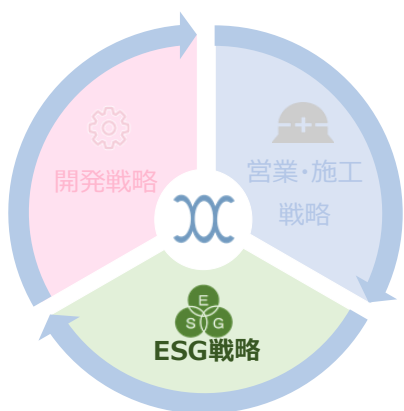
- ✓ コミュニケーションの促進、業務の効率化等を目的に、東京機材センター・テノックス技研の事務所を改装（2021年10月完成）
- ✓ Web会議やペーパーレス会議の利便性向上のため、本社の全会議室にWeb会議用モニターを設置（2021年5月済）無線LANを導入（2022年3月済）
- ✓ 生産性を向上させる新基幹システムの導入プロジェクトを進行中
- ✓ 2021年10月に人事制度改定プロジェクトを始動



テノックス技研新事務所

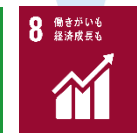


本社Web会議モニターを使った会議の様様



S：人材の確保と育成…働きがいのある職場環境の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

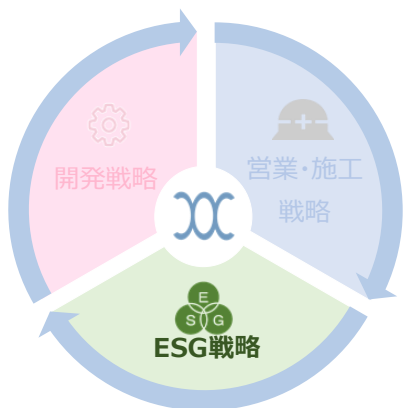
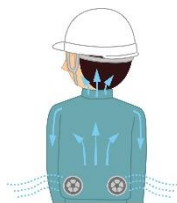


⑤ 健康経営の推進 → ウェルビーイング経営へ

- ✓ 従業員一人一人に対してメンタル、フィジカルともにサポートできる施策を実施
- ✓ 取り組みの成果として、2022年2月に全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業 銀の認定」を取得
- ✓ 長時間労働対策の実施や人事制度の改定など、より健康を意識した経営に取り組む

＜これまで取り組んだこと＞

- 現場作業員熱中症対策の実施（空調服の採用など）
- 健康診断項目の拡充及び全従業員の健康診断受診、35才以上は腫瘍マーカー・腹部超音波検査受診
- ストレスチェックの実施
- イン트라ネットに社外カウンセリング窓口を設置
- 産業医によるメンタルヘルスケアの実施
- 管理職層向けメンタルヘルス・ラインケア研修の実施
- 新型コロナウイルス感染症対策の実施（不織布マスク配布、在宅勤務、時差出勤、PCR検査代全額補助など）
- 1日数回換気を実施
- 空気環境測定の実施
- 本社でのインフルエンザ予防接種実施と金額補助
- 禁煙啓発セミナーの実施
- 禁煙外来治療費補助
- 非喫煙手当、禁煙手当の支給
- 本社オフィス喫煙室を閉鎖
- 安全衛生委員会の実施



健
健康優良企業



S：人材の確保と育成…働きがいのある職場環境の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



IRに関するお問合せ

- IR担当部署 企画情報推進部 予算・IRグループ
- E-mail ir@tenox.co.jp
- URL https://www.tenox.co.jp/contact/contact_ir/
- ホームページ <https://www.tenox.co.jp/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。